

化学工業日報社、UBMジャパンなどが主催する「国際医薬品原料・中間体展（CPhI Japan 2016）」が4月20～22日、東京ビッグサイトで開かれる。同展を中心に機器・装置、バイオ医薬品などに関する5つの専門展が併催される製薬業向け総合展として定着。加えて今回から、製薬業向け特化したITフェア「ヘルスケアIT」の開催が決まった。昨年からは医療機器開発のための5展示会とともに「ジャパンライフサイエンスウィーク」として一大イベントを展開しており、同ウィーク期間中に計11の展示会を合わせて5万人超の来場を見込んでいる。

CPhI Japan アーモジャパン（Bioは09年の開始以来、製薬 Ph Japan）「D業興受託サービスエクス DS・医薬品包装展（Iボ（ICSE Japannopack Japan）」「医薬品原料 機器 an）」が併催されるなど・装置展（PIMEC 着実に規模を拡大。製薬 Japan）」「バイオフ メーカーや医薬品受託製

国際医薬品原料・中間体展 CPhI Japan 2016

東京ビッグサイトで4月20～22日



化学工業日報社など主催



昨年の会場風景

造業を中心に世界から研究・開発部門などの担当者が多数来場し、新たなビジネスパートナーや医薬品製造サプライヤーの発掘、商談の機会として活用されている。出展社プレゼンテーションのほか、プロフェッショナルのほかに、

学や再生医療、製剤技術などに関する150超のセミナーも予定。製薬業界で働く女性達のネットワークづくりを応援する「CPhI Woman」

ジャパンライフサイエンスウィーク

新たに「ヘルスケアIT」業界網羅する11展示会

は第2回目の今回、グラクソ・スミスクライン取締役の三村まり子氏を講師として迎える。初開催のヘルスケアITは本格的なITフェアのニーズに対応しており、創薬から開発、製造・流通、マーケティングにいたる多分野の関連技術を紹介される。ITソリューション、サービスなどを取り扱う企業50社の新製品・技術・サービスが日本市場に紹介される。医療機器開発関連の5展示会には今回も世界約30の国・地域から約50社の出展を見込む。とくに海外企業の出展が多くなることしており、相乗効果が期待される。CPhI関連の詳細は化学工業日報社ホームページ（<http://www.kagakuonipco.com>）参照。

製造関連の「MEDTEC Japan」「医療用エレクトロニクス展」「Electro MED Japan」「医療・ICT・在宅医療展」「Smart Health Japan」「検査キット完成品&開発展」「Test Kit Japan」「介護・福祉ロボット&機器開発展」。今回は医薬品開発と医療機器開発に関するすべての展示会を東ホールで集中開催することにしており、相乗効果が期待される。CPhI関連の詳細は化学工業日報社ホームページ（<http://www.kagakuonipco.com>）参照。